

貸借対照表

平成 30年 9月 30日

東北アヲハタ株式会社
(単位 千円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	823,263	流動負債	1,199,758
現金及び預金	5,811	買掛金	279,609
売掛金	623,846	短期借入金	577,674
商品及び製品	2,958	未払金	240,481
仕掛品	13,416	未払費用	16,466
原材料及び貯蔵品	145,030	未払法人税等	8,066
繰延税金資産	26,438	未払消費税等	23,285
その他	6,086	預り金	2,436
貸倒引当金	△324	賞与引当金	50,350
		役員賞与引当金	1,388
固定資産	548,011	固定負債	51,913
有形固定資産	540,025	退職給付引当金	51,913
建物	34,780		
構築物	20,207	負債合計	1,251,672
機械装置	458,071		
車両運搬具	2,889	純 資 産 の 部	
工具器具備品	24,075	株主資本	119,602
		資本金	20,000
		利益剰余金	99,602
無形固定資産	211	利益準備金	5,000
電話加入権	211	その他利益剰余金	94,602
		別途積立金	323,000
投資その他の資産	7,774	繰越利益剰余金	△228,397
差入保証金	106		
その他	21	純資産合計	119,602
繰延税金資産	7,647		
資 産 合 計	1,371,274	負債及び純資産合計	1,371,274

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

東北アヲハタ株式会社

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) デリバティブ取引により …… 時価法
生ずる債権および債務 …… ヘッジ取引についてはヘッジ会計によっております。
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - 製品、原材料、仕掛品 …… 移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
 - 貯 蔵 品 …… 最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 …… 定額法によっております。
(リース資産を除く) …… なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	1年～31年
機械装置	1年～10年
 - (2) リース資産 …… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
3. 引当金の計上基準
 - (1) 貸倒引当金
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過年度の貸倒実績率を基礎とした貸倒見込率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
 - (2) 賞与引当金
従業員に支給する賞与の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上しております。
 - (3) 役員賞与引当金
役員に支給する賞与の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上しております。
 - (4) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。
過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。
各事業年度の数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれの発生年度の翌事業年度から費用処理することとしております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 - (1) 消費税等の会計処理方法
税抜方式によっております。